

写真：鷺森別院（スイレンとメダカ、竹中康夫副議長寄贈）



「世の中安穏なれ」

和歌山教区教務所長
杉本正信

発行 和歌山教区基幹運動推進委員会
編集 教区報編集委員会
和歌山市鷺森1番地
鷺森別院内
電話 和歌山(073)422-4677
FAX 和歌山(073)428-2450
発行人 杉本正信

新年度を迎え、教区内の各ご寺院関係者の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてご法義ご相続のこと慶賀に存じあげます。

さて本年度の基幹運動の取り組みの大綱を申しあげますと、宗門の基幹運動計画と連携し、御同朋の社会の実現をめざして、組の基幹運動推進委員会の機能の発揮と充実をはかり、共通課題・共通意識のもとで推進して参りたいと思っております。

具体的な取り組みとしては、一つ目には

「門信徒会運動研修協議会」「第Ⅳ期同朋運動推進僧侶研修会」の充実。二つ目には、組の運動計画書の全組での作成。計画書は、運動推進の基盤となり、運動推進上の問題点や取り組んでいかなければならない課題が明確化され、組活動を行う上で重要な指針となるものです。三つ目には、組連研の充実・推進。組連研は「法に問い、法を聞き、法を語る」場であり、単に知識を得る場ではなく、私が信心の行者にお育ていただく場であります。運動推進を担う門徒推進員の養成に取り組むものであります。四つ目には「キッズサンガ」への取り組み。寺院が子どもたちの居場所となり、次代を担う子どもたちの声が響きわた

る寺院となることを願って計画されています。五つ目には、昨年度作成した「葬儀仏事冊子」をもとに、浄土真宗にふさわしい葬儀・仏事のあり方の研修・啓発活動に取り組む予定です。またこの他にも、ブロック別研修会や平和を希う念仏者の集い等を計画しています。

これらの計画は、いずれも「いのち尊し」を基本とし、御同朋の社会の実現のための大切な取り組みです。和歌山教区が宗門及び現代社会に応える活気ある教区として発展していきますよう、皆様方のご理解と積極的なご参加・ご協力をお願いいたします。

さて、平成二十三年よりご修行されます「親鸞聖人七五〇回大遠忌法要」もいよいよ三年後と迫って参りました。お念仏の声が教区内に響きわたりますよう各組・各寺院で「大遠忌」のご法要がとまりますことを切望しますとともに、教区としての取り組み等につきましても検討していく予定でありますので、皆様方の益々のご協力・ご指導をお願い申しあげまして挨拶といたします。

2008年度

和歌山教区基幹運動計画

1. 目標 御同朋の社会をめざして

—つれもていこら 御同朋—

2. スローガン 「ともに いのち かがやく 世界へ」

—おかげさまで ありがとう—

3. 基本方針

「基幹運動（門信徒会運動・同朋運動）は、教団や社会の現状から目をそむけず、み教えに問い聞きながら、同朋教団の再生・御同朋の社会の実現をめざす運動である」ことを体して、教区内に基幹運動の推進をより一層展開し、全員聞法・全員伝道を実現すべく、門信徒・僧侶の一人ひとりが伝道教化活動に取り組もう。

4. 研修テーマ

「いのち きびしく あたたくく」
—いのちの尊厳を、御同朋の視点から、そのきびしさとあたたかさとともに学んでいく—

5. 活動方針

6. 重点項目

- ① 『浄土真宗のみ教えをよりどころに、ご本尊を中心とした家庭生活をすすめよう。』
- ② 私たち一人ひとりが、親鸞聖人の生き方に学び、念仏者として御同朋の願いに応える社会をめざそう。
- ③ 浄土真宗のみ教えをよりどころに、ご本尊を中心とした家庭生活をすすめよう。
- ④ 『浄土真宗の葬儀・仏壇・納骨ガイド—阿弥陀さまと私』の啓発冊子を活用し、浄土真宗のみ

7. 重点項目

- ① 『浄土真宗の葬儀・仏壇・納骨ガイド—阿弥陀さまと私』の啓発冊子を活用し、浄土真宗のみ
- ② 私たち一人ひとりが、親鸞聖人の生き方に学び、念仏者として御同朋の願いに応える社会をめざそう。
- ③ 浄土真宗のみ教えをよりどころに、ご本尊を中心とした家庭生活をすすめよう。
- ④ 『浄土真宗の葬儀・仏壇・納骨ガイド—阿弥陀さまと私』の啓発冊子を活用し、浄土真宗のみ

7. 具体的活動項目

- 一・ 組基幹運動推進委員会活動
 - ① 組の現状に即応した基幹運動の
 - ② 七月九日を「平和の日」と位置づけ、いのちの尊厳を護る取り組みをすすめ、戦争・ヤスクニ・人権・教育・環境などの現代の平和や社会の諸問題に取り組もう。
 - ③ 部落問題などの差別の実態から、私と教団の体質を問い、差別の現実を改め「信心の社会性」を明らかにするとともに同朋教団の確立をめざそう。
 - ④ 男女共同参画を積極的に推進しよう。
 - ⑤ 各種の取り組みを通し、僧侶・寺族・門信徒が基幹運動の課題を共有し、運動推進のための組織・研修体系の構築につとめよう。
 - ⑥ 次代を担う若手の人材育成に取り組もう。
 - ⑦ 社会福祉活動・ビハークラ活動へ積極的に取り組み、社会的実践活動への参画と地域福祉活動の推進に努めよう。
- 二・ 教区基幹運動推進委員会活動
 - ① 組基幹運動推進への取り組み
 - 「組基幹関係者合同協議会」の開催
 - ② 「第十五回平和を希う念仏者の集い」の開催
 - ③ 門信徒研修への取り組み
 - 門信徒会運動研修協議会
 - ブロック別門信徒総研修会
 - ④ 僧侶・寺族研修への取り組み
 - 「僧侶・寺族研修会」
 - 「第Ⅳ期同朋運動推進僧侶研修事前研修会」の開催
- 三・ 専門部会活動
 - (一) 教学伝道部会（第一専門部会）
 - 時代に即応する教学の研鑽と研修会への取り組み
 - ① 現実の問題を直視した視点から、み教えに学ぶ姿勢を確立する
 - 御同朋の願いに応える教学・伝道
 - 僧侶・寺族研修会
 - ② 葬儀仏事冊子による啓発・研修

教えを学び伝え、念仏の輪が広がるようつとめよう。

② 七月九日を「平和の日」と位置

づけ、いのちの尊厳を護る取り組みをすすめ、戦争・ヤスクニ・人権・教育・環境などの現代の平和や社会の諸問題に取り組もう。

③ 部落問題などの差別の実態から、私と教団の体質を問い、差別の現実を改め「信心の社会性」を明らかにするとともに同朋教団の確立をめざそう。

④ 男女共同参画を積極的に推進しよう。

⑤ 各種の取り組みを通し、僧侶・寺族・門信徒が基幹運動の課題を共有し、運動推進のための組織・研修体系の構築につとめよう。

⑥ 次代を担う若手の人材育成に取り組もう。

⑦ 社会福祉活動・ビハークラ活動へ積極的に取り組み、社会的実践活動への参画と地域福祉活動の推進に努めよう。

一・ 組基幹運動推進委員会活動

① 組の現状に即応した基幹運動の

充実と活性化を図る

② 「門信徒会運動研修協議会」の開催

③ 「第Ⅳ期同朋運動推進僧侶研修（組僧研）」の開催

二・ 教区基幹運動推進委員会活動

① 組基幹運動推進への取り組み

● 「組基幹関係者合同協議会」の開催

② 「第十五回平和を希う念仏者の集い」の開催

③ 門信徒研修への取り組み

● 門信徒会運動研修協議会

● ブロック別門信徒総研修会

④ 僧侶・寺族研修への取り組み

● 「僧侶・寺族研修会」

● 「第Ⅳ期同朋運動推進僧侶研修事前研修会」の開催

三・ 専門部会活動

(一) 教学伝道部会（第一専門部会）
時代に即応する教学の研鑽と研修会への取り組み

① 現実の問題を直視した視点から、み教えに学ぶ姿勢を確立する

● 御同朋の願いに応える教学・伝道

● 僧侶・寺族研修会

② 葬儀仏事冊子による啓発・研修

③ 布教団との連携

- 布教団との合同協議会の開催
- 《専門委員会》

- 葬儀・仏事冊子編集委員会
- 葬儀仏事冊子をもとに迷信・俗信の習慣を見直し、浄土真宗にふさわしい葬儀・仏事のあり方の啓発活動に取り組み。

《専門委員会》

〈勤式推進委員会〉(仮称)

- 特別法務員による委員会構成の充実。

- 勤式・法式に関する研鑽・意識向上と普及に向けての取り組み。

- 「親鸞聖人七五〇回大遠忌法要」などの寺院における特別法要の指導と助言。

(2) 同朋部会(第2専門部会)

- 御同朋の社会をめざし、同朋運動を推進する上から、同朋運動その他人権にかかわる諸問題への取り組み

① 寺院における同朋運動の取り組み

- ② 各種教化団体等における同朋運動の取り組み

③ 同朋運動研修の取り組み

- 「組同朋運動推進僧侶・寺族研修会」のための事前研修会の開催

- 「組同朋運動僧侶・寺族研修会」の開催(組僧研)

- 教区僧侶・寺族研修会の開催(教区僧研)

④ 同朋運動関連連携への参画

- 近畿同朋運動推進協議会(略称・近同推)への積極的参画。

- 同和問題にとりくむ和歌山県宗教教団連絡協議会(略称・和歌山県同宗連)への積極的参画。

- 同和教育振興会―月例研究会・同朋講座への参加。

⑤ 非戦平和の取り組み

- 7月9日「平和を希う念仏者の集い」開催

(3) 寺院振興部会(第3専門部会)

- 寺院機能振興を図る上から門徒総代、門徒推進員等と連携をはかり、連研の推進と広報活動の推進

① 寺院振興のための取り組み

- 門徒総代会の充実
- 責任役員の研修

② 連研活性化への取り組み

- 連研のための研修

- 連研講師研修会

- 連研修了者研修会

- 連研修了者の集い

- 連研修了者の中央教修への参加促進

③ 門徒推進員連絡協議会の充実・発展

④ 広報・文書伝道の充実

- 教区報「まぎのもり」の発行

- テレホン法話の充実

- ホームページの充実

- 寺院振興につながる情報の収集と整理

《専門委員会》

〈教区報編集委員会〉

- 教区報「まぎのもり」の編集と発行。年四回(四月、七月、十月、一月)

(4) 組織教化部会(第4専門部会)

- 門信徒、僧侶の一人ひとりが共に手を携え、課題を共有し、念仏者として基幹運動の充実を図り、さらに将来を担う人の育成に取り組み。

① 教区に即応した教化団体のあり方を協議し、活動の充実をめざす。

- ② 教化団体の現状を把握し、団体間の情報交流を促す。

③ 青少年の育成につとめる。

- 全寺院子ども集い(キッズサンガ)への取り組み

- 寺院子弟の育成

④ 仏教壮年会活動の推進

《関連団体》

- ① 少年連盟

- ② 仏教青年連盟

- ③ 寺族青年連盟

- ④ 仏教婦人会連盟

- ⑤ 寺族婦人会連盟

- ⑥ 仏教壮年会連盟

- ⑦ 保育連盟

- ⑧ スカウト

- ⑨ 本派社推協和歌山教区支部

- ⑩ ビハーラ和歌山

《専門委員会》

〈教化団体等役員協議会〉

- 各団体における横のつながりを密にし、基幹運動を推進する。

四 布教の拡充強化をはかる

- 布教団との連携・協力をはかる。

教区新体制

大遠忌法要に向けて

昨年度より教区会、組長、副組長、組相談員、和歌山教区基幹運動推進委員会では、任期満了に伴い、新体制のもと遂行されている。

また教区会、組長、組相談員の任期は、親鸞聖人七五〇大遠忌法要修行のため二〇〇七(平成十九)年四月一日～二〇一二(平成二十四)年三月三十一日までの任期四年のところ五年に延長になっている。

教区基幹運動推進委員の任期は、二〇〇七(平成十九)年四月一日～二〇〇九(平成二十一年)年三月三十一日までの任期二年。なお、詳細名簿については、和歌山教区基幹運動計画書に掲載。各役職者は次の通り。(敬称略)

教区会

議長 下間信男氏(和歌山東)

組信楽寺住職)

副議長 竹中康夫氏(有田南組)

円光寺門徒)

組長会

会長 鈴木悟峰(日高組善宗)

寺住職)

副会長 北本大城(和歌山北組)

浄源寺住職)

寺本泰宣(加茂組教徳)

寺住職)

和歌山教区基幹運動推進委員会

会長 杉本正信(教務所長)

副会長 松本教智(海南組了賢)

寺住職)

寺本泰宣(加茂組教徳)

寺住職)

教学伝道部会長 松本教智(海)

南組了賢寺住職)

同朋部会長 宇多光誠(伊那組)

光明寺住職)

寺院振興部会長 玉置 證(和)

歌山組養専寺住職)

組織教化部会長 稲垣貴史(海)

草組蓮乗寺住職)



新「教章」をご制定

このたび、昨年九月に「宗制」が改正されたことを受け、ご門主が新しい「教章」を制定されました。四月十五日の「立教開宗記念法要(春の法要)」に引き続き行われたご親教で、ご門主「浄土真宗の教章」を述べられました。

「教章」は、昭和四十二年四月に当時の勝如上人前門さまが制定され、その後四十年余り、「門徒の規範」とされてきました。新「教章」については、本願寺ホームページからもダウンロードできます。既刊のお聖教などの「教章」ページを補訂するための各種サイズが揃ったサンプルが取り出せます。ご利用ください。



「教章」の額装品

お申し込みは、本願寺出版社まで。額装付き 八〇〇〇円(税込)。本堂・仏間にご利用できます。

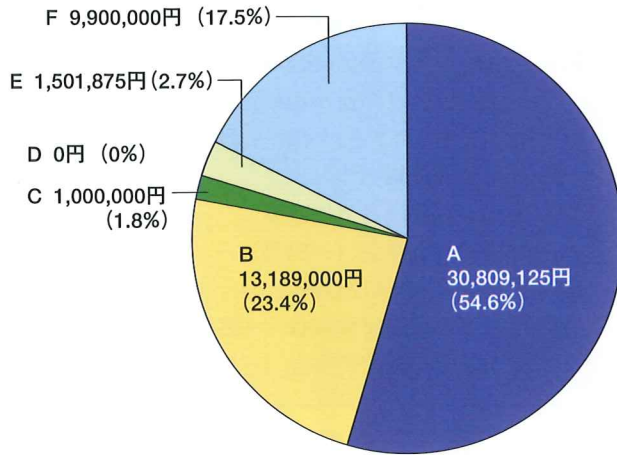
額縁 隅丸型
幅62.5cm×たて47.3cm
布マット 金線入り
アクリルガラス

2008(平成20)年度和歌山教区一般会計予算

(自：平成20年4月1日～至：平成21年3月31日)

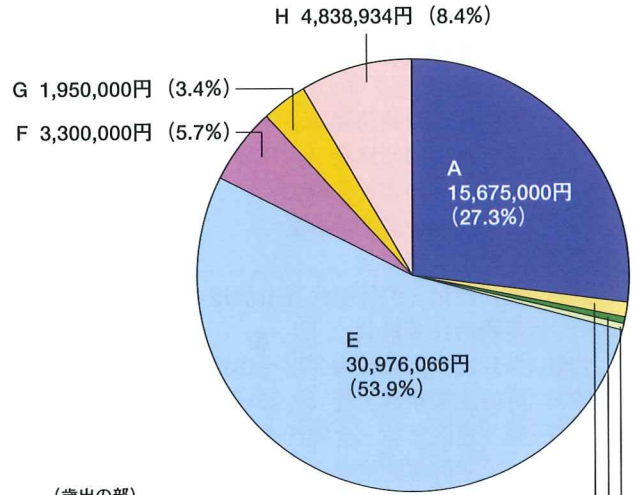
歳入の部 57,400,000円

歳出の部 57,400,000円



(歳入の部)

A	教区賦課金	30,809,125円
B	宗派交付金	13,189,000円
C	願記手数料	1,000,000円
D	回金	0円
E	雑収入	1,501,875円
F	繰越金	9,900,000円
合	計	57,400,000円



(歳出の部)

A	基幹運動推進費	15,675,000円
B	会議費	580,000円
C	宗会選挙事務費	30,000円
D	教区法要事務所費	50,000円
E	教務所費	30,976,066円
F	維持費	3,300,000円
G	回金	1,950,000円
H	予備費	4,838,934円
合	計	57,400,000円

2008(平成20)年度本願寺鷺森別院一般会計歳計予算

歳入

歳出

款	費目	平成20年度予算額	平成19年度予算額	対比△減
1	懇志	10,400,000	10,400,000	0
2	回金	6,370,000	8,830,000	△2,460,000
3	本山交付金	200,000	330,000	△130,000
4	維持費	4,530,000	4,620,000	△90,000
5	負担金	1,500,000	1,500,000	0
6	雑収入	538,000	550,000	△12,000
7	前年度繰越金	5,290,000	5,400,000	△110,000
	合計	28,828,000	31,630,000	△2,802,000

款	費目	平成20年度予算額	平成19年度予算額	対比△減
1	法務費	2,740,000	2,740,000	0
2	教化費	1,470,000	1,390,000	80,000
3	事務費	14,781,152	14,847,130	△65,978
4	会議費	50,000	50,000	0
5	維持費	3,816,490	6,245,690	△2,429,200
6	積立金	2,500,000	3,000,000	△500,000
7	予備費	3,470,358	3,357,180	113,178
	合計	28,828,000	31,630,000	△2,802,000

*****教区だより*****

6月

- 2日 保育連盟評議員会(本山)
- 5日 キッズサンガ中央連絡協議会(～6日 本山)
- 7日 勤式講習会(鷺森別院)
- 9日 布教団連続法座
- 10日 法要委員会(大阪)
少年連盟第3ブロック指導者研修会(～11日 奈良)
- 11日 門徒推進員連絡協議会理事会
- 12日 近同推寺婦研修会(～13日 京都)
- 13日 平和の集い実行委員会
仏教婦人会連盟委員会
スカウト研修会
- 16日 責任役員・門徒総代辞令伝達式
企画常任委員会
- 17日 第12回全国布教大会(～18日 本山)
- 23日 寺婦連盟研修旅行(～25日 関東)
- 24日 第3連区ピハラー実行委員会
- 26日 中央基幹運動推進委員会(～27日 本山)
大阪矯正教化連盟管区支部連絡協議会(大阪)
近畿地区仏婦大会実行委員会(大阪)
- 27日 門徒総代会研修旅行
スカウト研修会
- 28日 勤式講習会(日高別院)

8月

- 27日 布教団連続法座
- 30日 第1ブロック門信徒総研修会(鷺森別院)

9月

- 6日 第2ブロック門信徒総研修会(きびドーム)
第3ブロック門信徒総研修会(日高別院)
- 9日 キッズサンガアドバイザー研修会(～12日 本山)
- 16日 仏婦別院清掃
- 18日 千鳥ヶ淵戦没者追悼法要
- 22日 鷺森別院彼岸会(～24日)
- 27日 勤式講習会(日高別院)
- 28日 仏婦連盟幹部研修旅行(～29日 山口)
- 29日 第3連区布教使研修会(～30日 京都)

10月

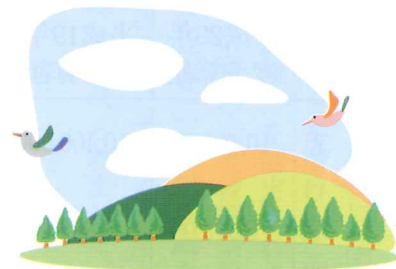
- 4日 勤式講習会(鷺森別院)
- 16日 布教団連続講座
- 25日 保育大学講座(～26日 滋賀)

7月

- 2日 基幹運動推進専従員研修会(～3日 本山)
- 5日 勤式講習会(鷺森別院)
- 8日 平和の集い実行委員会
- 9日 第15回平和を希う念仏者の集い
- 11日 スカウト研修会
- 15日 仏婦別院清掃
- 17日 ピハラー和歌山総会・講座
- 18日 スカウト研修会
- 23日 児童念仏奉仕団(～24日 本山)
- 26日 勤式講習会(日高別院)
全国真宗青年の集い(～27日 新潟)
- 31日 組僧研のための事前研修会

【お知らせ】

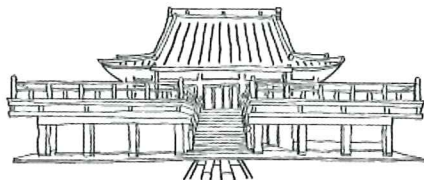
教務所・別院では、本山宗務所に準じ、6月1日から9月末までクールビズを実施いたします。



日高別院

【常例布教】

- 六月 山下信順師(北豊教区)
- 十月 波多正宣師(兵庫教区)



鷺森別院

【常例布教】毎月十五・十六日

午後一時半よりお勤め

六月十五日

山下信順師(北豊教区)

十六日

佐々木紀彦師(和歌山教区)

七月十五日

松岡満優師(東京教区)

十六日

寺本泰宣師(和歌山教区)

八月

長谷都子師(兵庫教区)

九月

中川大城師(奈良教区)

十月

佐々木蓮乗師(兵庫教区)

別院だより

チャリティーバザーのお礼

社会福祉推進協議会和歌山教区支部では、昨年十一月二十七日に本願寺鷲森別院報恩講勤修にあわせてチャリティーバザーを開催。十六万四百三十円の売上は、敬老の日のお祝い等の事業に役立てられます。

出品いただいたご寺院様、ご門徒様、またご協力いただいた皆さまに厚く御礼申しあげます。

「第十五回平和を希う念仏者の集い—全戦没者追悼法要—」

来る七月九日(水)午後一時半より鷲森別院本堂を会場に「第十五回平和を希う念仏者の集い—全戦没者追悼法要—」を開催する。

各組からの出勤法中のもと全戦没者追悼法要を勤修。かりようびんが鷲森のコーラスの時間のあと、ご講師に武蔵野大学教授の山崎龍明師を迎えて、講師に「平和は築き育てるもの—今なすべきこと—」と題して記念講演。

教区では、七月九日を「平和の日」と位置づけ、いのちの尊厳を

護るべく、戦争・ヤスクニ・人権・教育・環境などの現代の平和や社会の諸問題への取り組みをすすめてます。

どうぞお誘い合わせのご参拝ください。

児童念仏奉仕団
参加者並びにスタッフ募集

来る七月二十三日〜二十四日に「第二十六回児童念仏奉仕団」を開催いたします。昨年は、大好評で定員を急ぎよ増員しました。今年も昨年同様開催します。ふるってご参加ください。

また、元気な子ども達と一緒に引率・お手伝いをいただくスタッフもあわせて募集します。みなさまのご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

期 日 七月二十三日(水)〜
二十四日(木)

会 場 本願寺

参加費 一人二千元

(宿泊交通費、食事代含)

※詳細・お問い合わせは教務所

(小山)まで。

子ども作品展 作品募集

少年連盟では、毎年十一月本願寺鷲森別院において勤修される「報恩講」から十二月に開催する「子どもの報恩講」までの期間中、「子ども作品展」を開催します。

書道・絵画・工作の各部の作品展作品募集いたします。

多くの方の出展をお待ちしております。

【書道の部】

●毛筆●

中学生 「温和な人」

小学五・六年生 「山鳥の声」

小学三・四年生 「手足」

小学一・二年生 「見る」

●硬筆●

小学一・二年生

「みえぬ けれども
あるんだよ」

幼 児

「てを あわす。ほどけさま」

【絵画の部】 幼児〜中学生

課題はありませんのでご自由に描いてください。

【工作の部】

課題や形状、大きさの決まりはありません。自由に制作してください。

※ただし廃品を利用したものに限りません。

【募集期間】 九月一日から十月三十一日(必着)

※お手本等詳細は教務所(小山)まで、お問い合わせください。

全国真宗青年の集い

今年度の全国大会が新潟にて開催されます

【期日】 七月二十六日(土)〜
二十七日(日)

【会場】 NASPAニューオオタニ

【大会参加費】 一人一万二千元

※詳細は教務所(小山)まで。

同朋運動僧侶・寺族研修会
のための事前研修会

このたび「第IV期同朋運動推進僧侶・寺族研修会(組僧研)」の充実を図っていくために組基推関係者を対象に事前研修会を開催いたします。

期日 七月三十一日(木)午後より
会場 鷲森別院

講師 宇野哲哉氏(中央相談員)

※日程、内容については後日案内します。

ブロック別門信徒総研修会

毎年開催のブロック別門信徒総研修会を、今年度も開催します。

第一ブロックは、和歌山北組担当のもと八月三十日(土)鷺森別院にて。第二ブロックは有田南組担当のもと九月六日(土)、会場はきびドーム。第三ブロックは日高組担当のもと九月六日(土)日高別院にて。詳細については、後日各寺院へご案内いたします。

教区勤式講習会のご案内

勤式講習会を鷺森別院と日高別院で開催します。

藤岡大祐教区勤式指導員より左記の内容により勤式指導が行われます。参加費は無料。詳細は教務所までお問い合わせください。

本願寺鷺森別院

(毎月第一土曜日 午後七時より)

六月七日 七月五日 九月六日
十月四日 十一月一日 十二月六日
二月七日 三月七日

本願寺日高別院

(毎月第四土曜日 午後七時より)

六月二十八日 七月二十六日

九月二十七日 十月二十五日
十一月二十二日 二月二十八日
三月二十八日
※八月・一月は休会とさせていただきます。

月	講習内容
①六月	無量寿経作法
②七月	無量寿経作法
③九月	観無量寿経作法
④十月	観無量寿経作法
⑤十一月	阿弥陀経作法
⑥十二月	阿弥陀経作法
⑦二月	頌讚・画讃等
⑧三月	まとめ

得度

(平成十九年二月)

荻野 龍裕	海南組	浄国寺
荻野 千夏	海南組	浄国寺
岩橋 真隆	紀南組	金徳寺
藤本 唯瑛	伊那組	極楽寺
杉山 映里香	和歌山北組	永正寺
宮脇 浄	和歌山東組	浄徳寺
富浦 直宏	有田北組	西光寺
茂野 悟空	有田北組	浄念寺
中山 智昭	和歌山北組	光源寺
辻本 真一朗	和歌山組	西念寺
伊勢川 貢平	伊那組	玉川寺
澤田 康昌	伊那組	西照寺
島 具加	和歌山組	西覚寺
木村 美智代	和歌山東組	善正寺
栽 亀吉	伊那組	大光寺
雑賀 雅樹	有田南組	善照寺
富浦 久子	有田北組	西光寺

教師

(平成十九年三月)

刀祿 裕人	和歌山組	円光寺
平林 唯香	有田南組	福蔵寺
間嶋 裕二	有田北組	西光寺
伊藤 智教	和歌山西組	西教寺
辻本 一仁	海南組	大専寺
伊藤 恭孝	有田北組	教念寺
村山 暢隆	和歌山東組	浄明寺
藤澤 眞実	海南組	光澤寺
長谷川 義昭	海草組	報徳寺
笹野 隆	御坊組	一念寺
加藤 諭絵	和歌山西組	万福寺
白樫 由理	和歌山北組	深崇寺
長谷川 美千子	海草組	報徳寺
妻木 良三	有田南組	本勝寺
楠山 和也	御坊組	浄専寺
井辺 真崇	和歌山東組	勝安寺
湯浅 真	有田南組	宝林寺
茂野 千草	有田北組	浄念寺
根来 真明	和歌山組	教応寺
北條 朋	紀南組	妙道寺

逝去

(平成十九年一月)

岩井 トミエ	伊那組	教善寺
前住 亮二	和歌山組	念誓寺
住 信純	有田北組	浄應寺
住 職	平成十九年三月二十二日	照円寺
笠井 壽子	有賀組	照円寺
前坊 守	平成十九年四月十日	

西岡 早百合	和歌山東組	蓮光寺
坊守 繁徒	平成十九年五月二十一日	
林 壽子	和歌山東組	教明寺
前坊 守	平成十九年七月十六日	
北本 さとの	和歌山北組	浄源寺
前坊 守	平成十九年八月十日	
北畠 利親	和歌山組	宗善寺
前住 職	平成十九年九月二十日	
津村 致世子	加茂組	西福寺
前坊 守	平成十九年十一月二十六日	
笠井 愛子	加茂組	光福寺
前坊 守	平成十九年十二月二日	
児玉 敏子	加茂組	教念寺
前坊 守	平成二十年一月十八日	
湯浅 勢津子	有田南組	宝林寺
坊 守	平成二十年二月七日	
木坊子 房江	御坊組	光源寺
前坊 守	平成二十年二月十二日	
北氏 武	和歌山北組	教願寺
坊守 繁徒	平成二十年三月十九日	
祇園 正宣	加茂組	西方寺
前住 職	平成二十年四月七日	
神谷 幸	紀南組	勝徳寺
前坊 守	平成二十年四月十五日	
藤並 武雄	海草組	真宗寺
衆徒	平成二十年四月二十四日	
青木 トミエ	御坊組	明鏡寺
前坊 守	平成二十年四月二十九日	
加藤 秀子	海南組	光徳寺
前坊 守	平成二十年五月六日	
幸馬 道子	和歌山西組	正善寺
前坊 守	平成二十年五月十一日	
湯川 歌子	御坊組	源行寺
前坊 守	平成二十年五月二十三日	

ご生前のご活躍・ご尽力に感謝申しあげ、謹んで敬申の意を表します。